



ボンクリ・フェス2021

"Born Creative" Festival 2021
アーティストック・ディレクター：藤倉大



© Alf Solbakken

新しい音を求める心が出会う、ボンクリの懐

なにがやっても不思議はないが、楽しいことしか起こらないのがボンクリ・フェス。笙の東野珠実、箏の八木美知依、名手にして作曲家のおふたりにその魅力をたずねた。

ボンクリ・フェスが5歳になる。アーティストック・ディレクターを担う作曲家・藤倉大のかけ声は、「大人になっても5歳のこどものままクリエイティブでいる人達の作品を、赤ちゃんからシニアまでが楽しめる音楽祭」。

多彩な音楽が満載の開かれた場に、笙の東野珠実が初回から独奏と雅楽アンサンブル「伶楽舎」で参加、八木美知依は一昨年から「箏の部屋」もひらいて活躍。和楽器の顔役ともみられるが、それぞれ雅楽と邦楽を出自とするふたりは近いようで遠い存在。直接の接点ともなったボンクリは、コンポーザー＝パフォーマーたる両者にとってどのような冒険の場となってきたのだろう。「音楽はある意味、お料理のようなもの。作曲も演奏も、想像力を膨らませるところにクリエイションの喜びはある」と東野珠実が言う。「ボンクリはこどもにも大人にも想像力を高めるためのチャンスをくれます。なおかつその先を探っていこうと思ったときの受け皿がいくつもあって、幅も深さも高さもある。そういうフィールドだから、ぜんぜん違うジャンルの音

楽家が出会ったときにも共有できる新しい種が見つかるわけです」。

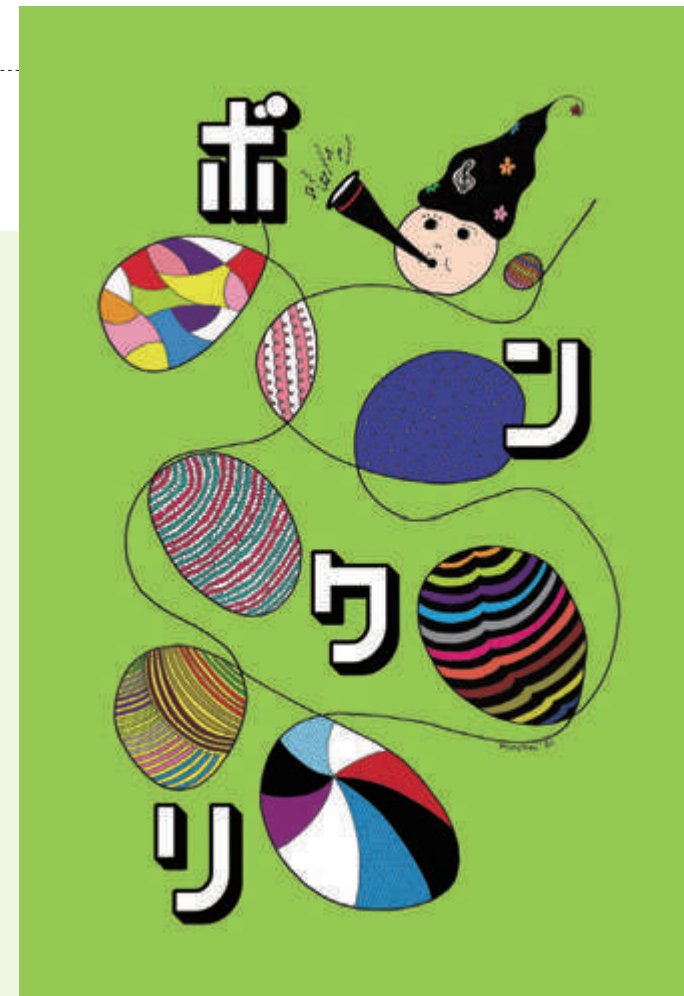
「いつも聴いているもの、食べているものと違うものが、ここにくるとちゃんとジャンルとして確立されている。この場所にきただけでも、いつもと違う、という経験のひとつになるんじゃないかな」と八木美知依は語る、「いろいろな場所で自由に感じていただくのがボンクリの醍醐味。私は箏の魅力を最大限に出して、自分の実力とこの楽器をさらに前進させていく場というふうには捉えています」。

藤倉大とはそれぞれにロンドンで出会い、すでに20年を越える交友を育んできた。「演奏家と楽器の相性をプロデュースし、そこからの共鳴を生み出すのがとても巧い方ですね」（八木）。「作品もそうですが、藤倉さんには人の最良の部分を引き出す力がある。生まれてくる音楽もそれに触れる人も、そこで生きている時間をいかに活かしているか、という息吹みたいなものが綿々と行き渡っている——ボンクリはそういうフェスティバルだと思います」（東野）

昨年はコロナ禍のなか、リモートでの合奏を念頭にデザインされた藤倉の「Longing from afar」にも各々のアンサンブルで参画した。その先の展望も含めて、八木も東野も今秋のスペシャル・コンサートのために新作を準備している。

「全世界の人が手探りで、同じように揺らぐ土台の上で生きていく努力をしている。私は即興演奏家として、その場で起きていることを最大限良いかたちで構築するというスタイルです。昨秋からは藤倉さんとの共作プロジェクトでも忙しくしていました。そのやり取りの中で、歌がついた様々な箏のアンサンブルを、とお題をいただいたのが今回世界初演に臨む新作です」（八木）。「私はホールも空間も楽器だと考えていますが、新作『円環の星篋』では6管の尺八と箏で一つの新しい架空の楽器を創りたい。リモート合奏に対する返歌として、同じ空間で共鳴したり、^{せめ}聞き合ったりすることでしか生まれない新しい音を。どんな条件にあっても、いま手の内にあるものをどう生かすかで、新しい滋味を見出せればと思います」（東野）

取材・文（コラムも）：青澤隆明（音楽評論家）



東野珠実 Tono Tamami (左)
笙 | Sho |

雅楽を芝祐晴に師事。笙奏者として、89年より国立劇場主催公演をはじめ、ウィーンモデルン等に出演。ヨーヨー・マ、坂本龍一、田中泯らに招聘されるなど、古典から新作まで幅広いジャンルで創作・演奏を通じ活動を展開。雅楽演奏団休伶楽舎、現代邦楽作曲家連盟所属。星篋(Hoshigatami)の会主宰、国立劇場雅楽声門専門委員。

八木美知依 Yagi Michiyo (右)
箏 | Koto |

邦楽はもちろん前衛ジャズや現代音楽からロックまで幅広く活動するハイパー箏奏者。多くのジャズ・フェスティバルのステージに立ち、世界中の優れた即興家と共演を続けるかたわら、J-POPアーティストのコンサートや録音にも参加。英ワールドミュージック誌 Songlines の《世界の最も優れた演奏家50人》に選ばれている。

大友良英、5年目のわくわく

多様な作風と着想で音楽する大友良英。「個人的なファン」だという藤倉大の呼びかけに応え、ボンクリを毎年沸かせてきた。「なによりも現代音楽の音楽家ではないわたしのようなよそ者にも声をかけてくれて場を提供してくれる懐の深さ、言い換えるなら他ジャンルへの興味と好意が、フェス全体の背景にあるところが嬉しい素晴らしいです。その上で現代音楽の延長線上にある様々な試みにもしっかり光を当てているのもまた素晴らしいと思います」と大友は言う。昨年に続く新作として、アンサンブル・ノマド、ノマドキッズのこどもたちと「楽しくやれるジャズ的なコンポジション」を考えているそうで、わくわくする。

Otomo Yoshihide



デイタイム・プログラム 2021年10月1日(金)～10月2日(土) 館内各所 詳細はHPへ

誰でも楽しめる! 無料プログラム

- アトリウム・コンサート
出演者：後日発表
- 「電子音楽の部屋」(入退場自由)
監修：檜垣智也
- 「音のない“オンガク”の部屋」
出演：雫境 牧原依里 ほか

ワークショップ・コンサート

- 「ニルスのトランペットの部屋」
演奏：ニルス・ベッター・モルヴェル
- 「ヴィオラの部屋」 演奏：アン・ランツィロッチェ
- 「オーストラリアの部屋」 演奏：アンサンブル・スリー [ジョエル・ブレナン(トランペット) ドン・インメル(トロンボーン) ケン・マレー(ギター)]
- 「ノマドの部屋」 演奏：アンサンブル・ノマド
- 「ファゴットの部屋」 演奏：レベッカ・ヘラー
- 「箏の部屋」 演奏：道場 [八木美知依 本田珠也]
- 「トーンマイスター石丸の部屋」 講師：トーンマイスター石丸
- 「プンクトの部屋」 演奏：ヤン・バング エリック・オノレ アイヴィン・オールセット アルヴェ・ヘンリクセン



2020年のアトリウム・コンサートより

© Hikaru. ☆

スペシャル・コンサート 詳細はHPへ

2021年10月2日(土) 14:00 開演 コンサートホール

出演：アンサンブル・ノマド(指揮：佐藤紀雄) アン・ランツィロッチェ(ヴィオラ) アンサンブル・スリー [ジョエル・ブレナン(トランペット) ドン・インメル(トロンボーン) ケン・マレー(ギター)] 東野珠実(笙) ヤン・バング(エレクトロニクス) エリック・オノレ(エレクトロニクス) アイヴィン・オールセット(ギター) アルヴェ・ヘンリクセン(トランペット) レベッカ・ヘラー(ファゴット) 八木美知依(箏) 大友良英 ノマドキッズ 藤倉大(エレクトロニクス)

曲目：藤倉大/THREE (日本初演) ジョージ・ルイス/Artificial Life 東野珠実/新作(世界初演) PUNKTライブ・リミックス マリオ・ディアス・デ・レオン/ラブリュス(日本初演) 八木美知依/新作(世界初演) 大友良英/新作(世界初演) 藤倉大/ヴィオラ協奏曲(世界初演)



2020年のスペシャル・コンサートより

© Hikaru. ☆

大人ボンクリ 詳細はHPへ

2021年10月2日(土) 19:30 開演 コンサートホール

コンサートホールが巨大なリスニングルームに変身！ “出演者なし”の電子音楽コンサート。楽曲シークエンス：Nagie